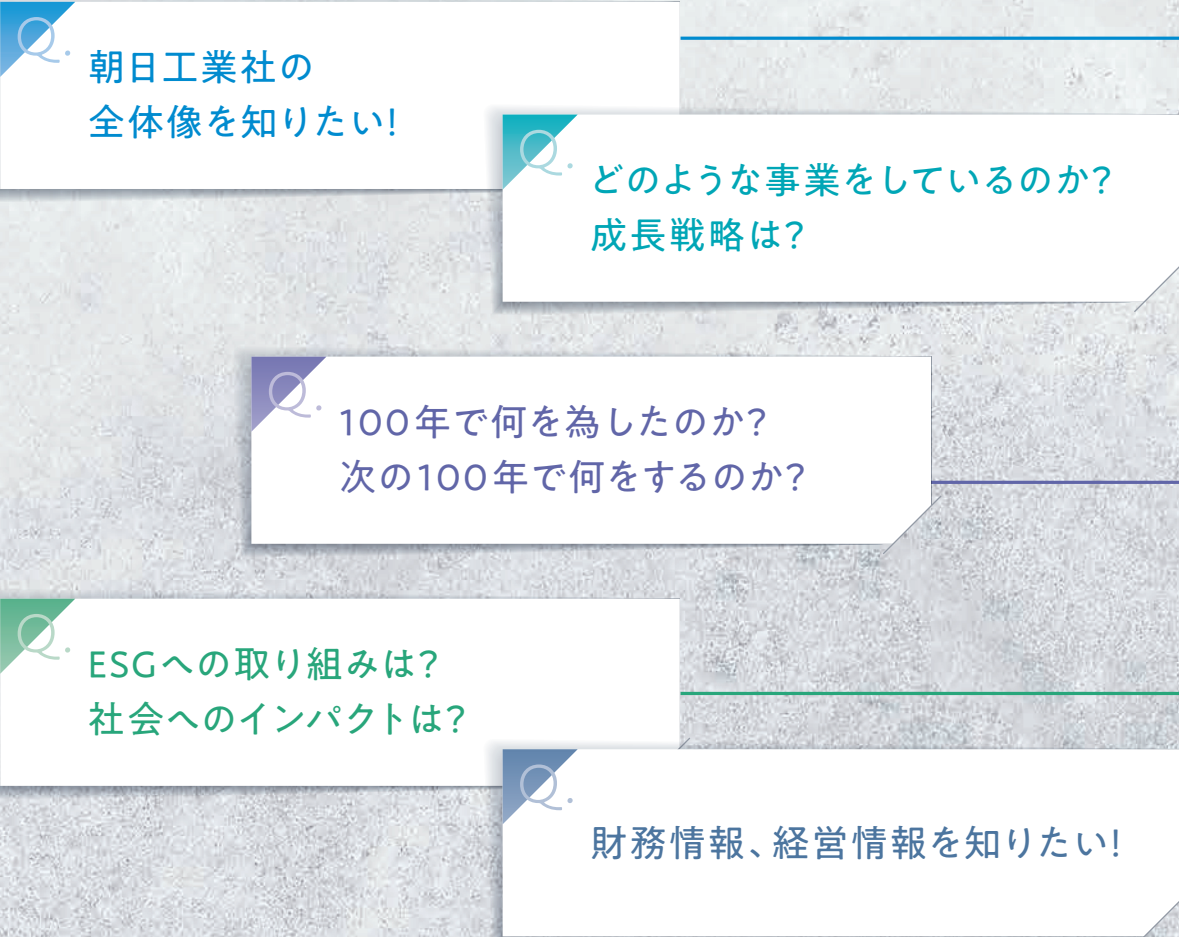




01 Introduction 01 朝日工業社の存在意義 (パーパス) 03 目次・編集方針、読みどころ 05 事業内容・事業領域 07 価値創造の歴史 09 財務・非財務ハイライト	39 特集 朝日工業社の「これまで」と「これから」
11 Top Message	45 朝日工業社グループのサステナビリティ 49 事業活動を通じたサステナビリティにつながる取り組み 51 環境への取り組み 51 環境マネジメント 52 気候変動への対応 54 脱炭素社会の実現に向けた取り組み 55 社会とのかかわり 55 お客さまのために 59 ビジネスパートナーとともに 61 従業員とともに 67 地域社会の一員として 69 ガバナンス 69 コーポレートガバナンス 73 役員紹介 76 社外取締役ダイアログ 79 サクセッションプラン 80 コンプライアンス 81 リスクマネジメント 82 株主とのコミュニケーション
15 朝日工業社グループの価値創造 15 価値創造ストーリー 17 価値創造のための重要な経営資本 19 成長戦略 (長期ビジョン・中期経営計画) 23 価値創造とマテリアリティ 25 価値創造メッセージ 27 ビジネスモデルと強み	83 コーポレートデータ 83 11年間財務サマリー (連結) 85 株式情報 86 会社概要
29 朝日工業社グループの事業紹介 29 設備工事業業の紹介 31 施工事例の紹介 33 機器製造販売事業の紹介 35 研究開発	

本レポートの読みどころ

CORPORATE REPORTは、朝日工業社がどのような会社で、何を資源にどのようにして価値を創造していくのか、価値創造のストーリーを分かりやすく伝えるものです。中期経営計画を中心とした成長戦略と重点テーマ (マテリアリティ)、事業セグメントごとの実績、ESGの取り組みによる社会へのインパクトなど、財務・非財務情報を網羅的に掲載しています。

本レポートでは、創業100周年を迎えた朝日工業社が歩んできた歴史と未来を特集。新たな企業理念「ASAHI-PHILOSOPHY」の中核であるパーパス「情熱と技術で、世界をもっと最適に」と長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」で掲げたスローガン「ワクワクする未来をカタチに」に込めた想いを紹介しています。

■ 本レポートの対象範囲

対象組織
株式会社朝日工業社単体を基本とし、内部統制やコンプライアンスなどに関してはグループ全体を対象としています。また、業績は連結の数値を使用しています。

対象期間
2024年度 (2024年4月1日～ 2025年3月31日) を基本とし、必要に応じて2023年度以前および2025年度以降の活動内容も記載しています。

■ 編集方針

本レポートは、朝日工業社グループの中長期的な企業価値向上と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、株主や投資家、従業員とご家族など、さまざまなステークホルダーの皆さまにご理解いただくための「統合報告書」です。編集にあたっては、IFRS財団が定める「国際統合報告フレームワーク」や経済産業省「価値協創ガイダンス」などのガイドラインを参考にしています。

■ 免責事項

本レポートには、朝日工業社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通しなどの将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。

■ 参考としたガイドライン

IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創ガイダンス」
ISO26000「社会的責任に関する手引」

■ お問い合わせ先

株式会社朝日工業社 経営統括グループ 経営企画室 TEL.03-6452-8181